

WITH CRAFTSMANSHIP

「すべては患者の選択肢を増やし、患者が望む医療を実現するため」

デジタル化により、この20年間でデジタルシーンは一新された。あらゆるデータはITによって管理されるようになったからだ。だがこの現象は、ヒジネスの世界のみならず、職人技的な手作業でなされているように見える歯科業界においても同様のことと言える。昨今ではCTで患者の患部を断面から撮影し、診察する方法も用いられているという。

その歯科業界において、最新のIT医療技術を駆使しながらも、歯科医としての卓越した技術を併せ持つ信望の高い医師がいる。医療法人社団明教会の理事長を務める滝澤聡明だ。「すべては患者の選択肢を増やし、患者が望む医療を実現するため。そう語る滝澤は歯科医になつて20年のキャリアを持つ。これまでも万件もの臨床を経験してきた。駆け出しの頃は師である歯科医に厳しく指導され、高度な歯科技術を徹底して叩き込まれた。そうした経験を糧に医療法人社団明教会を設立。東京都江東区にあるタキザワ歯科クリニックも同医療法人に属しているクリニックの一つとして、幅広く支持を受けている。CT機器などのIT医療も積極的に導入することで、患者に多くの情報を提供し、自分にふさわしいと思う治療を選ぶことができたことが特長だ。

患者を取り巻く状況は様々である。たとえば治療によっては、時間やお金をかけられないという人もいる。患者の希望も人によって異なり、歯を削ったりすることを嫌うケースも当然ある。そして診察する医師の間でも、へ

(敬称略)



歯科医として開業する夢は、高校生時代から持っていた。歯科医になった現在は、自ら治療の最先端に立ちつつ、2つの医療の運営と複数の医師やスタッフの教育にあたる。滝澤の哲学は、つねに患者の負担を最小限に抑えることである。そのため患者から「歯医者は痛い、怖い」というイメージを取り去り、歯を極力、「抜かない、削らない」治療を実践している。

PHOTOGRAPHS BY SHINICHI YOKOYAMA



医療法人社団 明教会 理事長／歯学博士／
歯科医師臨床研修指導歯科医／UCLAイン
プラントアソシエーションジャパン理事役員

対話から生まれる医療

Profile
1993年、神奈川県横浜国立大学薬学部薬学専攻薬学系歯学専攻卒業。同年、明教会に入社。翌年より同校に勤務しながら、同校の理事長を務める。歯科医としてのスキルを教育を受ける。1998年、東京都江東区にタキザワ歯科クリニックを開業。医療法人社団明教会の理事長に就任。インプラント治療を得意とし、これまで数多くのインプラント関連における認定を受ける。商業生産性ではない、高い医療を志す。

The DOCTORS out of STANDARD